

人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育

# 教育いちかわ



第3期市川市教育振興基本計画  
～次のような方針を掲げています～

**方針1** 感性を豊かに働かせ、社会の中でたくましく生きていくことのできる子どもを育てる

**方針2** “自分らしく輝くための学び”の環境の実現と学びのセーフティネットを構築する

**方針3** 社会の変化を見据えた教育環境の整備を図り、市川の質の高い教育を推進する

■発行  
市川市教育委員会  
■企画編集  
市川市教育センター  
〒272-0015  
市川市鬼高1-1-4  
TEL 320-3335

## 令和5年度教育行政運営方針

～新年度の重要な取組の一部を紹介します～

令和5年2月市川市議会定例会の開催にあたり、田中教育長が令和5年度の教育行政運営にあたって方針演説を行いました。市川市教育委員会は、今後も「人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育」の基本理念のもと、家庭・学校・地域と一体になり、子供たちを守り育てます。すべての子供がいつでも自身の能力を伸ばす機会が与えられ、一人ひとりの夢や思いを実現する教育を進めていきます。  
【教育総務課】

### 生涯を通じた学び

- ・公民館では、対面型及び、オンライン型の講座をそれぞれの利点を生かして実施します。
- ・図書館内の学習スペース確保や自動車図書館の活用など快適に利用できるサービスを充実させます。
- ・北下瓦窯跡の公有化を進め、国府台公園野球場の国庁関連遺構の発掘調査を続けます。

### 学校における学び

- ・デジタルツールを活用し、指導の個別化・協働的な学びを進め、学校図書館を活用した読書教育、小学校高学年における教科担任制を推進します。
- ・体力向上、食育及び体験活動の充実を図り、包括的な健康教育を推進します。
- ・少人数の学級編成、特別の教育課程などによる適切な指導及び支援を行います。

### 教育環境の整備

- ・いじめの未然防止、不登校児の居場所づくり、校則・制服の見直し、放課後の居場所の提供など誰一人取り残さない学校づくりに努めます。
- ・子供たちの食の環境を整えるため、給食費の無償化を全市立学校55校で実施します。
- ・コミュニティ・スクールや地域学校協働本部の一層の活用を進めます。
- ・幼児期と小学校の切れ目のない教育支援に努めるとともに、教育課程の連続性・系統性を重視した小中一貫教育を進めます。
- ・家庭の状況により教育格差が生じないよう様々な支援を行います。
- ・スクールロイヤーの活用やスクール・サポート・スタッフの配置、学校部活動の地域移行の推進など、教育活動に専念できる環境を整えます。

### 教育委員学校訪問 須和田の丘支援学校

### 須和田に輝く 生徒たちの作業風景



教育委員会では、学校の現状や児童生徒の実態、保護者や教職員の意向を把握して市川の教育政策等に反映させていくために、教育委員が学校訪問を行っています。

須和田の丘支援学校へは、島田由紀子教育委員と広瀬由紀教育委員が訪問し、高等部の作業班（コンクリート班・陶芸班・木工班・手工芸班・織物班・農園芸班）の参観をしました。教育委員は、農園芸班が育てているたくさんの大きな大根を見て「立派ですね。」と声をかけていました。すると生徒からは「ありがとうございます。」という言葉とともに、葉が萎れてしまった一本の大根を掲げ「失敗してしまっただけです。」と栽培の難しさを伝えていました。



教育委員からは、生き生きと取り組む生徒の姿や各作業班の作品の出来栄に感心したこと、また、生徒個々の気持ちを大切に、良い面をより引き出していく先生方の細やかな配慮の大切さを改めて感じたとの言葉がありました。

【教育センター】

### 自閉症・情緒障がい

### 特別支援学級を開設

特別支援教育推進に係る環境整備のため、現在、市立学校に知的障がいの特別支援学級を31校、自閉症・情緒障がいの特別支援学級を8校、肢体不自由の特別支援学級を1校設置しています。

個に応じた教育的支援のニーズが高まっていることから、障がい種や地域のバランスを考慮し、令和5年4月より下記の3校に特別支援学級を開設することになりました。【義務教育課】

### 特別支援学級【自閉症・情緒障がい】

- ◆市川市立平田小学校  
(所在地)市川市平田3-28-1
- ◆市川市立行徳小学校  
(所在地)市川市富浜1-1-40
- ◆市川市立柏井小学校  
(所在地)市川市柏井町1-1149-1





子供たちの  
未来のために

# 学校給食費が無償になります



市川市では、子供たちの成長を社会全体で支え、健やかな心と体を育てていくため、子供たちがいつでも安心して栄養のある給食が食べられるよう、全国に先駆けて学校給食費の無償化を実施します。  
令和5年1月からは、市立中学校、義務教育学校後期課程、特別支援学校中学部・高等部で、4月からは、小学校も含めたすべての市立学校で学校給食費を無償とします。

**令和4年度** 市立中学校  
市立義務教育学校(後期課程)  
市立特別支援学校(中学部・高等部)

まずは中学校など計**17校**

→ **令和5年1月からの給食費が無償に**

**令和5年度** 市立小学校  
市立中学校  
市立義務教育学校  
市立特別支援学校

全ての市立学校計**55校**

→ **令和5年4月からの給食費が無償に**

## 子供たちの健やかな心と体を育む、栄養たっぷり学校給食

学校給食1食で、子供たちの成長にとって必要な1日の栄養素のうちの約3分の1を摂取できるように毎日の献立を作っています。  
献立作りでは、特に不足しがちなカルシウム、鉄分、食物繊維などがバランスよく取れるように心がけています。



【保健体育課】

## 須和田の丘 フェスティバル



11月11日、2年ぶりに小学部、中学部、高等部の児童生徒が体育館に集って、須和田の丘フェスティバルが開催されました。  
フェスティバルは、「みんなの笑顔が輝く 最高のフェスティバル」というテーマのもと生徒会長の「みんなで協力してみんなが楽しめるフェスティバルにしましょう！」という力強い言葉でスタートしました。



**小学部**は「ハッピースマイル」をテーマに、1・2年生は、フラフープとオーガンジーを使った身体表現とダンス、3・4年生は、手作りの山車を引きながら登場し、鳴子と和太鼓の元気な演奏、5・6年生は、優しいメロディーが印象的な合奏と元気なダンス、どの演技も会場から自然と手拍子が起こるなど盛り上がりました。

**中学部**は、「アシタカとサン〜もののけ姫より〜」を1・2年生の素敵な音色の器楽合奏と3年生の幻想的なハンドダンスで会場を魅了しました。

**高等部**は、「波のように優しく、ときに力強く！須和田ソーラン節」の力強いダンス発表でした。「みんなを応援する気持ちで」と曲紹介があったように、途中で「がんばれー！」の声体育館に響き渡りました。どの学年も約2か月にわたる練習の成果を見事に発揮しました。

フィナーレには、ダンスリーダーがステージでリードしながらテーマソング「スマイル」の曲に合わせて全員がダンスをしました。体育館には、発表をやり遂げた達成感や高揚感、そして、最高の笑顔が自然とあふれる幸せな時間が流れていました。



## 学校支援実践講座 地域の方々との 交・流・会

この講座は、いじめ未然防止を目的とした市独自の取組です。人権に関する講座を受講した地域の方々が、小中学校で行われる「交流会」に参加し、班での話し合いの進行役を担います。今回は、南行徳小学校5年生の交流会の様子をお伝えします。

話し合っていたのは、修学旅行に向けた班決めの場面で、「くじ引きで班を決めたが、仲良しの子と一緒に班になれなかった子が大声で不満を言う」という架空の内容でした。班での話し合いでは、「みんなで話し合って決めたことは守らない」と「周りの子がもっと声をかけた方がいい」などの様々な意見を、地域支援者が引き出していました。

交流会終了後、児童の感想には「こんなにたくさんの考えがあるのに驚いた」「地域支援者の方と一緒に話し合いをして、自分の考え方が変わった気がする」などと書かれていました。担任の先生からは、「子どもたちの思いをいつもよりたくさん聞くことができた」「事例について深く考え、自分事として解決方法を話し合っていたことが印象的」という声が聞かれました。異なる意見を尊重し認め合える、地域支援者の方々との協働学習の効果が感じられました。

【学校地域連携推進課】



手作りの山車  
(3,4年生)



# 教育功労者表彰

教育功労者の表彰は、教育、学術又は文化の振興などに関し、特に功績が顕著であった個人または団体を表彰するものです。受賞された皆様、おめでとうございます。  
【教育総務課】



~ Congratulation ~

## 千葉県教育功労者 ※敬称略

石原 一幸	市川市立第一中学校 校長
石田 清彦	市川市立第二中学校 校長

## 千葉県学校体育功労者

河合 滋	市川市立第七中学校 校長
------	--------------

## 市川市教育委員会教育功労者

松永 裕思	市川市立中山小学校 校長
小松崎 聡	市川市立富貴島小学校 校長
松井 聡	市川市立塩浜学園 校長
友部 喜一	市川市立須和田の丘支援学校 事務長
中村 あづさ	市川市立八幡小学校 教諭
佐藤 雅秀	市川市立第四中学校 教諭
小林 正貫	元 市川市立富美浜小学校他 学校医
豊永 直人	市川市立宮田小学校他 学校医
吉田 英介	市川市立福栄中学校 学校歯科医
御代川 浩隆	市川市立平田小学校 学校薬剤師

## 教育実践記録論文

いぶき

教育実践記録論文「いぶき」は、教職員の力量の向上を目指し、教育実践をまとめることが自己研鑽につながるとして、昭和54年に始まり、今年度で44年目となります。



3年ぶりに開催した表彰式・発表会

今年度は、一般部門9編、フレッシュ部門(講師を含む)4編の合計13編の応募がありました。

どの論文からも、子供たちの成長のために取り組まれた先生方の熱意を感じ取ることができました。これらの実践を市内の先生方と共有し、教職員の力量の向上に寄与したいと考えています。



【一般部門最優秀賞】  
妙典小 永瀬 悟 教諭

【教育センター】

賞	学校名	氏名	分野	テーマ
一般部門 最優秀	妙典小	永瀬 悟	社会	「探究して、語れる子」を育てる社会科学習 ～主体的な学び手の育成を目指した学習の振り返りの充実～
優秀	南行徳中	中上 武士	国語	タブレット端末を活用した中学国語科授業実践 ～「主体的・対話的で深い学び」「個別最適な学び」「協働的な学び」の視点から～
優秀	新浜小	比留間千夏	特別支援教育	自己肯定感を育む通級指導教室最後の学習 ～未来にはばたくつばさの会・そよかぜ教室終了式～
優秀	第八中	菊地 学	特別支援教育	発達障がいのある生徒たちが、社会を生き抜く素地を培う学級の在り方 ～一人一人の生徒が安全・安心感のある自閉症・情緒障がい特別支援学級を目指して～
特別 奨励	第一中	石原 一幸	学校経営	青春の花咲く第一中学校の実践 ～1年生との作文交流と個別面談の実践を踏まえた学校経営の展開～
奨励	市川小	時田 裕	国語	学校図書館ネットワークを活用した読書コミュニティの形成 ～重松 清作品の多読を通して～
奨励	市川小	倉本有巳子 熊谷和修 立石夏子 會田拓哉	学年学級経営	学級力・学年力の向上に向けて
奨励	新井小	古賀裕喜子	食育	「おはし名人になろう」自身の課題を見つけ、解決できる子の育成 ～コロナ禍でも「学びを止めない」食育の継続と安全安心な給食提供を目指して～
奨励	東国分中	井上 菜美	特別支援教育	自閉症・情緒学級における授業と進路へのアプローチ
賞	学校名	氏名	分野	テーマ
フレッシュ部門 最優秀	南行徳小	藤松 皆元	道徳	自分の考えの深まり・変容に気付く道徳科実践 ～学校生活と関連付けた内容項目の配列の工夫を通して～
優良	八幡小	鈴木 辰朗	総合的な学習の時間	体験の充実を目指したwithコロナの総合的な学習 ～3年「和っ!と驚く日本の宝調査隊」～
優良	第八中	柴 優太	総合的な学習の時間	八中取材旅行プロジェクト「ツアー企画取材旅行」～ミッション遂行型・ツアープラン企画型の修学旅行～
奨励	第六中	市野由起子	特別支援教育	読み書きが苦手な生徒への音声教材を使用した学習支援

## 歴史博物館 企画展

### 出土したイヌに学ぶ



2月12日(日)から3月26日(日)まで歴史博物館で企画展「遺伝子からみた古代のイヌ」を開催しています。1984(昭和59年)年に須和田遺跡から出土した奈良時代後半の7匹と、曾谷の向台貝塚から出土した縄文時代の1匹を対象に遺伝子の分析をおこない、その結果を展示しています。奈良時代のイヌの遺伝子分析は日本で初めての事例です。

日本でのイヌの出土は12,000年前の縄文時代の初めにさかのぼり、イヌはヒトの古くからの友達といわれます。しかしその実態は、弥生時代以降不明なことが多く、縄文時代から現在に至るまでの変遷はなぞに包まれています。今回、そのなぞの歴史に遺伝子分析という理化学の手法で実態に迫ってみました。その結果は、展示をご覧いただくことにより、その試みは歴史が文字や土器だけでなく、理化学の分析によって新たな可能性を示す事例となっています。歴史は文系という発想はもう古い。理系の目でみて新たな事実を追求する。科学の総合、融合で新たな視点が生まれる。そんな枠にとらわれない学びの姿勢を、出土したイヌは私たちに示しているように思います。

【考古博物館】

### 【出土した1号イヌ】





小中一貫型小学校・中学校の教育

# 「東国分爽風学園」「信篤三つ葉学園」の取り組み

「小中一貫型小学校・中学校」は、校舎などを変えることなく、義務教育学校に準じた形で義務教育9年間を一貫した教育ができる学校です。今年度の主な取り組みについてご紹介します！ 【学校環境調整課】

今年で2年目となる**東国分爽風学園**では、新しい教科「ふるさと探究科」の取り組みや、小学校同士の交流活動、小中の連携活動を進めてきました。



部活動体験

ふるさと探究科では、地域のことをSDGsと関連させ、「探究的な学習」を実施しています。

具体的には、小学校は、「曾谷貝塚」について学習することや、児童が自発的に「米作り」を体験することで、地域との繋がりを再認識する取り組み等を行っています。中学校は、校外学習などを通して、SDGsの視点から探究的な学習を進めました。

小学校同士の交流活動では、オンラインを使った「あいさつ運動」の実施等を行いました。また、小中の連携活動では、3校合同の職員研修、中学校の教員による小学校の算数の授業、小学生による中学校の部活動体験、中学生が作った「ブルーリボン」を小学校で配ることで、いじめ撲滅を啓発する活動等を行いました。

今年度からスタートした**信篤三つ葉学園**では、小学校同士の交流活動や小中の連携活動を主に進めています。



美術科の教員による  
乗り入れ授業(手の描き方)

小学校同士の交流活動では、総合的な学習の時間で「真間川」について調べ、オンラインを使って他校の児童に発表する活動等を行いました。

小中の連携活動では、中学校の教員による、小学校の体育の「ボールの投げ方」と図画工作の「絵の描き方」の授業等を行いました。

また、来年度からは新しい教科を立ち上げ、スタートすることにしています。

今後の2つの小中一貫型小学校・中学校の取り組みにご注目ください！  
詳細につきましては、下記QRコード及び市公式WEBサイトをご覧ください。

<QRコード>



## ★小・中学校の講師募集★

～あなたの教員免許を生かし、  
市川市の子供たちのために働きませんか～

市川市教育委員会では、市内の公立小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校に勤務できる講師等を随時募集しています。

### 1. 募集職種

(1) 県費講師：産前産後休暇等の代替 等  
○常勤(38時間45分勤務/週)  
給与：月額20万円程度～(経験による)交通費支給有

(2) 市費補助教員：教科の指導のサポート・学級担任の補助 等  
○週2日～(最大5日35時間)(8:15～16:00)  
時給1,100円以上(職種による)交通費支給有

2. 応募方法 義務教育課・教職員グループへ電話でご連絡ください。  
TEL 047-383-9261

3. その他 ※HPも併せてご覧ください。

## 子供にかかわる相談は こちら

### ◆教育相談

面接予約 ☎ 320-3336(教育センター)  
面接予約 ☎ 318-3223(行徳相談室)  
【火～土曜日(9:00～17:00)】

3歳以上の幼児・小中学生の子育てをする中で生じる様々な悩みに関する相談をお受けします。(予約制)

### ◆ほっとホッと相談室

電話相談 ☎ 320-3362  
【火～金曜日(12:30～17:00)】

不登校や子育てについての相談をお受けします。

### ◆少年センター

電話相談・面接予約 ☎ 320-3340  
【月・火・木・金曜日(9:00～17:00)】  
【水曜日(9:00～19:00)】

小学生から19歳までの本人や保護者から様々な悩みの相談をお受けします。

メール相談 : youngnet@city.ichikawa.lg.jp

SNS相談：『悩み相談@いちかわ』  
【月曜日と木曜日(17:00～22:00)】

相談員は、LINEの登録名とアイコン画像しかわかりません。

初回はQRコードから登録必要

※QRコード掲載資料は、対象児童生徒の学校に配付済  
対象…小学校5年生～中学3年生、特別支援学校高等部